

●平成7～8年度役員候補者推薦のお願い

定款に従って、平成7～8両年度の役員を選出を行ないます。スケジュールは次の通りです。

平成7年1月31日(必着) 候補者推薦締切 2月20日～3月20日 会員の書面による投票
3月末日開票(予定) 4月下旬 総会において決定

については、下記により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 伊藤忠雄・亀山三郎

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、社員(正会員または名誉会員)5名以上が候補者の略歴をつけて推薦する。(下記の書式に従ってください)
2. 候補者は社員でなければならない。
3. 理事は会務の分担ごとに選挙をするので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次のとおりとする。副会長2名 庶務1名 国際1名 研究1名 編集1名 無任所(支部所属者)1名
4. 監事の改選数は 1名

..... 切 り と り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成7～8年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

(副会長 庶務理事 国際理事 研究理事 編集理事 無任所理事 監事)として

_____ 氏を推薦致します。

推薦者(正会員および名誉会員5名以上)

(代表者) 氏名 _____ (所属: _____)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

候補者略歴(18字×6行以内)

上記の推薦に同意します。

氏名 _____ (所属: _____)

(i)

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、および学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き平成7年1月31日となっておりますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙を早めに事務局宛ご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（6年1月1日より12月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機等、企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 齊、原野秀永、千住鎮雄、依田 浩、刀根 薫、松富武雄の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕 すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限ります。なお、ソフトウェア部門は11月末日で締切りしました。

〔学生論文賞〕 学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成7年3月31日となっておりますが、詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。（表彰委員会）

●研究部会・グループ開催案内

・自動車市場の計量分析

日 時：1月18日(水) 18:00~20:00

場 所：東京国際大学国際交流研究所（山手線高田馬場駅前F Iビル6 F（1 Fは東海BK））

テーマと講師：「ディーラー経営における粗利益管理のモデル化（乱売の戒めの理論）」

上田恭嗣（東京国際大学商学部）

メーカーが支出する販売奨励金の拡販効果の分析。ディーラー行動の差により、拡販効果は0から45%と差が生じる。「拡販＝値引き幅拡大」という短絡した発想は製品寿命を短くする危険があり、耐久消費財販売における乱売現象とその後味の悪さをよく説明できて、当時の乱売防止キャンペーンの理論的支柱となる。

問合せ先：東京国際大学商学部 上田恭嗣

Tel.0492(32)1111 Fax.0492(32)1119

・CIM環境下における生産計画とスケジューリング

日 時：1月19日(木) 18:30~20:30

場 所：青山学院大学総研ビル9階 第16会議室

テーマと講師：「コンカレントエンジニアリングとスケジューリング」西岡靖之（東京大学先端科学技術研究センター）

一品生産や試作品の生産におけるスケジューリングでは、他のスケジューリング問題と異なり設計要求を制約として考慮する必要がある。この設計要求をいかにダイレクトにスケジューリングに反映させるかという手法を中心に説明し、いわゆるコンカレントエンジニアリングの枠組みの中でスケジューリングのもつべき役割を提案する。

問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター

西岡靖之

Tel.03(3481)4486 Fax.03(3481)4585

E-mail: nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

・評価のOR

日 時：1月21日(土) 13:30~17:00

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手) 10F第18会議室

テーマと講師：(今回は学生論文の発表となっております)

(i) 「出力値にファジィ数を用いたDEA」

(ii)

- 長野史裕 (東京理科大学)
- (2) 「CCR型の対数型DEAモデル」 平野啓太 (同上)
- (3) 「DEAモデルに基づく資源再配分問題」
阿部隆郎・三原玲美 (同上)
- (4) 「新規出店計画問題への包絡分析法 (DEA) の拡張」
河村二郎 (慶應義塾大学)
- (5) 「第三セクター鉄道の効率性に関する研究」
坂元純一 (埼玉大学)
- (6) 「千葉県における農業協同組合の事業効率に関する研究」
加藤 清 (同上)

問合せ先: NTT通信網研究所 上田 徹
Tel.0422(59)3362 Fax.0422(59)2829
E-mail: ueda@tnlab. ntt. jp

・数理計画法

日 時: 1月28日(土) 14:00~17:00

場 所: 統計数理研究所 3階セミナー室

テーマと講師: (1) 「安定な準Newton法のクラスについて」
(キーワード: 非線形計画法, 無制約最適化, 準Newton法)

八巻直一 (システム計画研究所)

(2) 「内点法の局所的超1次収束性について」
(キーワード: 内点法, 外点法, 超1次収束, 線形相補性問題)

水野眞治 (統計数理研究所)

問合せ先: 東京理科大学 工学部 矢部 博
Tel.03(3260)4271 内3560, 3545
Fax.03(3260)0322
E-mail: yabe@jpnst20. bitnet
統計数理研究所 予測制御研究系 伊藤 聡
Tel.03(3446)1501 内553
Fax.03(3446)1695
E-mail: sito@ism. ac. jp

●平成7年度春季研究発表会

日 時: 3月27日(月)~29日(水)
3月27日(月)研究発表会, 懇親会
3月28日(火)研究発表会
3月29日(水)見学会

場 所:
研究発表会: 広島修道大学 (広島市安

佐南区沼田町大塚1717)
懇 親 会: 広島全日空ホテル
見 学 会: 海上自衛隊第一術科学校(海軍兵学校跡)
日新製鋼(株) 呉製鉄所

特別テーマ: 「ORルネッサンス」

チュートリアル:

27日(月)

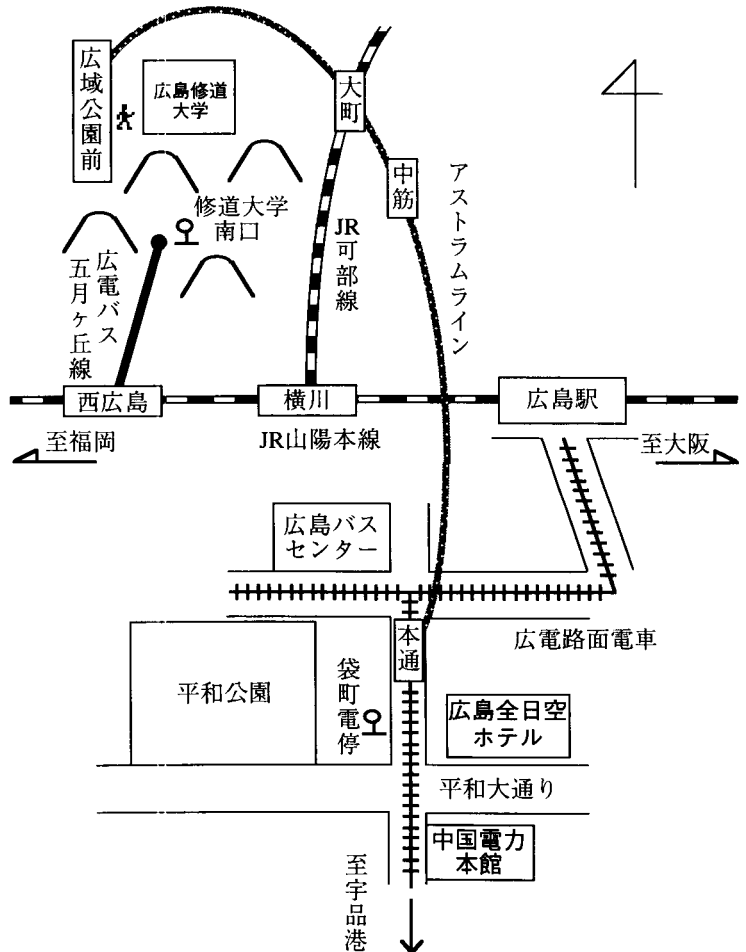
「メタ戦略とその周辺」 久保幹雄(東京商船大学)
「ネットワークとコンピュータの性能評価-待ち行列モデルの変遷」 高橋幸雄(東京工業大学)
「相補性問題と変分不等式」
福島雅夫(奈良先端科学技術大学院大学)

28日(火)

「Semidefinite Programmingと内点法」
小島政和(東京工業大学)
「秘書問題の面白さ」 玉置光司(愛知大学)
「離散系シミュレーション」 森戸 晋(早稲田大学)

実行委員長: 尾崎俊治 (広島大学)

実行副委員長: 海生直人 (広島修道大学)



参加費：正・賛助会員(6,000円)、学生会員(2,000円)、非会員(10,000円)当日受付にてお支払いください。

発表申込締切日：平成7年1月10日(火) 必着

(宛先) 〒724 広島市鏡山1丁目4の1

広島大学工学部第2類 計数管理工学教室内

日本OR学会中国・四国支部事務局

Tel.0824(24)7696 Fax.0824(22)7195

・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をもって申込み受けとします。

・申込書等請求先：日本OR学会事務局

学会会場(広島修道大学)へのアクセス：

・JR「広島駅」より：可部線でJR大町駅へ行き、大町駅でアストラムラインに乗り換えて、終点の「広域公園前」下車、徒歩5分。(アストラムライン「大町」-「広域公園前」(片道)340円 19分)。

・広島全日空ホテル、広島バスセンターより：アストラムライン「本通」(地下)より終点「広域公園前」下車、徒歩5分。(アストラムライン「本通」-「広域公園前」(片道)460円 37分)。

・広島空港より：リムジンバスで「広島バスセンター」へ、あるいは、アストラムライン「中筋」下車、いずれもアストラムラインを利用する(アストラムライン「中筋」-「広域公園前」(片道)340円 22分)。

・JR「西広島駅」より広電バス五月が丘線で「広島修道大学南口」(終点)下車、徒歩10分。(このコースは最短ですが、バスは山道を通り、下車後山越えの徒歩がある健脚者向きの難コース)。(広電バス「己斐(西広島)」-「広島修道大学南口」(片道)290円約25分)。

宿泊のご予約については12月号をご参照の上、お早めにお申し込みください。

●第33回シンポジウム「ファジィ数値計画法とその応用」

1980年代後半のファジィブームを契機として、ファジィ理論がさまざまな分野に導入されるようになった。ファジィ理論は、人間の主観的なあいまいさを数学的に表現し、積極的に取り扱う方法論で、あいまいさの関与するどのような問題へも導入することができる。

意思決定を数学的に扱うオペレーションズ・リサーチにおいては、人間の主観的であいまいな情報を取り扱うファジィ理論の導入は自然な発想であり、古くから、線形計画法や多目的計画法などに導入されてきた。近年、

ファジィブームとともに、オペレーションズ・リサーチ分野へのファジィ理論の導入も活発になり、組合せ計画法や動的計画法などの数理計画法、データ解析や品質管理などの統計的手法、効用理論や決定解析などの意思決定手法などへのファジィ理論の導入が検討されている。これらの手法は、従来のOR手法のように、厳密に記述された問題の厳密な解を求めるのではなく、あいまいに記述された問題に対し、意思決定者の意向を反映した解を求めている。

本シンポジウムでは、数理計画法へのファジィ理論を導入したファジィ数理計画法を取り上げ、現在までの成果を概観するとともに、ファジィ組合せ計画法やファジィ動的計画法、遺伝的アルゴリズムとの融合など最近の研究成果について発表・討論し、オペレーションズ・リサーチ分野での今後の発展方向や現実問題への応用の可能性を探る。この分野に興味を持っておられる研究者や学生の方々、実際問題への応用を考えている実務家の皆様の御参加を歓迎いたします。

日時：3月29日(水) 10:00~16:30

場所：中国電力株式会社 本店1号館 3-1会議室
(〒730-91 広島市中区小町4番33号)

テーマ：「ファジィ数値計画法とその応用」

実行委員長：坂和正敏(広島大学)

オーガナイザー：乾口雅弘(広島大学)

プログラム：

- 10:00~11:00 ファジィ数値計画法の現状と課題
乾口雅弘(広島大学)
- 11:00~12:00 ファジィ組合せ最適化とその応用
石井博昭(大阪大学)
- 13:20~14:20 区間係数を伴う整数計画問題の遺伝的アルゴリズムによる解法
玄光男(足利工業大学)
- 14:20~15:20 不変埋没によるファジィ動的計画法
岩本誠一(九州大学)
- 15:30~16:30 ファジィ決定過程：安定化と最適性
蔵野正美(千葉大学)

参加費：正・賛助会員3,000円、学生会員1,000円、非会員5,000円

問合せ先：広島大学工学部第2類(電気系) 乾口雅弘

Tel.0824(24)7695 Fax.0824(24)7694

E-mail: inuiguti@msl.sys.hiroshima-u.ac.jp

●会合案内

・第144回新宿OR研究会

日時：1月17日(火) 12:00~13:30

場 所：レストラン・レダ (新宿センタービル53F)

テーマ：「これからの道路整備の諸問題について」

講 師：三谷 浩 (首都高速道路公団 副理事長)

参加費：3,000円

・第24回丸の内OR研究会

日 時：1月11日(水) 18:30~21:00

場 所：学士会館 (神田錦町3-28)

テーマ：「21世紀の企業市民」

講 師：細田正勝 (日本精工(株) 顧問)

参加費：丸の内OR研究会会員 (無料)

非会員 (3,000円) 当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生

Tel.03(3457)6745

●ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護に関する日米シンポジウム

—技術者と法律家の対話—

主 催：日本オペレーションズ・リサーチ学会「ORソフトウェア研究部会」および「数理計画法研究会 (RAMP)」

共 催：東京工業大学工学部

ジョージ・ワシントン大学工学応用科学大学院

後 援：国際交流基金・日米センター, 日本経済新聞社

開催期日：1995年3月10日(金)~11日(土)

場 所：パシフィコ横浜, 国際会議場 (横浜市みなとみらい1丁目1番地) (同時通訳付) Tel.045(221)2155

参加費：10,000円 (会員, 含賛助会員), 15,000円 (非会員)

申込み先：下記の口座

第一勧業銀行大岡山支店 1709751

口座名 「日米シンポジウム 今野 浩」に参加費をお振り込みの上, 振込みのコピーを同封して下記宛てお申込みください。

〒152 目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学工学部経営システム工学科 今野 浩

(先着順 350人まで受け付けます)

Tel.03(5734)2371 Fax.03(5734)2936

プログラム：

第1日 3月10日(金)

セッション1. オープニング・セッション

9:15~10:30

キーノート・スピーチ：Richard Stern (Graham & James)

9:30~10:00

ソフトウェアの権利保護に関する諸問題

チュートリアル：佐野 稔 (弁護士)

10:00~10:30

ソフトウェア/アルゴリズム保護

—法律の原点から見た問題の所在—

セッション2. パネル・ディスカッション

10:45~13:15

ソフトウェア/アルゴリズムの法的保護：

技術的立場からの提言

モデレーター：Gideon Frieder (ジョージ・ワシントン大学)

パネリスト：玉井哲雄 (東京大学), 三次 衛 (富士通エフ・アイ・ピー), Daniel Bricklin (Software Garden, Inc.), A. Johnson-Laird (Johnson Laird, Inc.), Douglas Brotz (Adobe Systems, Inc.) ほか

セッション3. チュートリアル 14:30~15:25

1. 辻井重男 (中央大学) 著作権・特許・暗号

14:30~15:00

2. 今野 浩 (東京工業大学) カーマーカー特許

15:00~15:25

セッション4. パネル・ディスカッション

15:30~18:00

アルゴリズムと特許：カーマーカー特許を中心に

モデレーター：今野 浩

パネリスト：Clyde Monma (AT&T Bellcore),

John Mulvey (プリンストン大学), Richard Stern, 前田英次郎 (ラボ・テリヤ), 水谷直樹 (弁護士), 山下 浩 (数理システム)

第2日 3月11日(土)

セッション5. 特別講演 9:10~10:30

スピーチ：Pamela Samuelson (ピッツバーグ大学)

9:10~9:50

計算機プログラムに関する新たな法制度

コメント1：Emery Simon (APSI) 9:50~10:10

コメント2：Robert Gorman (ペルシルバニア大学)

10:10~10:30

セッション6. パネル・ディスカッション

10:45~13:15

ソフトウェア/アルゴリズムの法的保護：

法律的立場からの提言

モデレーター：相沢英孝 (筑波大学)

パネリスト：Pamela Samuelson, Robert Gorman, Emery Simon, 中山信弘 (東京大学), 中川淳司, 本間忠良 (三菱電機), 内布 光 (日立情報システ

ム)

セッション7. ソフトウェアの保護：公共政策の観点から
14：30～15：25

スピーチ：Brian Kahin（ハーバード大学）

14：30～15：10

米国における知的財産権政策に関する批判的分析

コメント：竹内 啓(明治学院大学)15：10～15：25

セッション8. Concluding Panel Discussion

15：30～18：00

ソフトウェアとアルゴリズムの保護の将来：バランスを求めて

モデレーター：竹内 啓

パネリスト：Douglas Brotz, Richard Stern, Chris Meyer, Clyde Monma, 大野侑郎(東芝情報システム), 反町洋一(筑波国際大学), 相沢英孝

●第5回RAMPセミナー

RAMPセミナーは、日本オペレーションズ・リサーチ学会数理計画法研究部会RAMPの主催で、企業の若手の方々および大学院修士課程クラス(新4年生も含む)の学生を対象として、毎年1回開催しているものです。このセミナーは、数理計画の分野の中から重要なテーマを取り上げ、1泊2日で基礎から応用までを体得してもらうことを狙いとしています。今回は全体テーマとして「メタ・ヒューリスティックス」を取り上げ、次の4人の先生方を講師としてお迎えし、お話いただくことに致しました。

このセミナーをきっかけに、数理計画の手法を新しい分野へ適用するための大きなヒントが得られるのではないかと期待できそうです。OR学会員以外の方の参加も歓迎します。多数のご参加を期待しております。

1日目：茨木俊秀(京都大学工学部数理工学科)

玉置 久(京都大学工学部電気工学第2学科)

2日目：中野秀男(大阪大学工学部通信工学科)

久保幹雄(東京商船大学流通情報工学)

日 時：4月6日(木)～7日(金)

場 所：新潟市五十嵐2の町8050 新潟大学大学院自然科学研究科大会議室(宿泊場所は交渉中)

定 員：一般15名、学生15名(OＲ学会員かどうかは問い

ません)

参加費：未定

旅費補助：遠方のOR学会学生会員に対しては、必要に応じて旅費の一部を補助します。

問合せ先：〒950-21 新潟市五十嵐2の町8050

新潟大学理学部数学科 RAMPセミナー実行委員

田中謙輔

Tel.025(262)6124 Fax.025(262)6116

E-mail：tanakaks@scux.sc.niigata-u.ac.jp

●シンポジウム案内

・17th Symposium on Mathematical Programming with Data Perturbations

日 時：1995年5月25日(木)～26日(金)

場 所：ジョージワシントン大学(ワシントン/D.C.米国)

アブストラクト締切：1995年3月17日

主 催：ジョージワシントン大学

問合せ先：Anthony V. Fiacco, Dept. of Operations Research, SEAS, The George Washington University Washington D. C. 20052 U. S. A

●公募案内

・山口大学工学部機械工学科

募集人員：教授1名

専門分野：機械情報工学およびこれに関連する分野(機械の知能化、画像処理、マンマシンインターフェイス、計算機処理、人間工学、CIM等)

担当科目：機械情報処理学、情報処理演習、情報システム工学特論

応募資格：博士の学位を有し、大学院博士後期課程を担当できる方、上記専門分野における業績を有し、教育研究に熱意のある方、年齢57歳以上の方が望ましい。

応募締切：平成7年3月31日

採用予定：決定後できるだけ早い時期

提出書類：履歴書、研究業績リスト、論文の別刷他

送付・問合せ先：〒755 宇部市常盤台2557 山口大学 機械工学科主任教授 河野俊一 Tel.0836(35)9914

平成7年度会費納入のお願い

平成7年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、6年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるようお願いいたします。